

JTA 表彰(功績賞)

功 績 賞

「功績賞」は、会員等のうち、トンネル技術の発展に特に顕著な功績があったと認められる者に授与することとし、対象とする業績は、プロジェクトに貢献する新技術・新工法の開発、困難を克服してのプロジェクトの実施、学術図書・実務図書の刊行等とします。

歴代の受賞者

年 度	表彰者(敬称略)		業 績
2026	個人	朝倉 俊弘 特定非営利活動法人トンネル工学研究会理事長	長年にわたりトンネルに関する研究に取り組み、技術の普及やトンネルの研究者・技術者の育成に努め、プロジェクトの推進と完成に尽力するなど、トンネル工学の発展に大きく寄与した。
	個人	山田 隆昭 (株)ネクスコ東日本エンジニアリング	長年にわたり高速道路トンネルの設計・施工技術の発展に尽力し、多くの標準化や技術革新を主導するとともに、点検・リニューアル指針の策定や委員会活動を通じトンネル技術の発展に大きく寄与した。
2025	個人	大島 洋志 国際航業(株)	長年の実務経験に基づき取得した山岳トンネル分野の地質工学的経験知をトンネル専門誌や書籍に公表するとともに、数多くのトンネル建設関連の技術委員会に参加して、難航するトンネルプロジェクトの円滑な完成に寄与することで、トンネル工学分野の発展に貢献した。
2024	個人	西村 和夫 東京都立大学名誉教授	技術基準等の整備を通じて、日本のトンネル事業全般(建設から保全まで)の合理化、適正化に最新の知見で貢献した。
	個人	中川 浩二 山口大学名誉教授	「臨床トンネル工学」を提唱し、山岳トンネルの合理的な建設に関する総合的な技術発展に寄与した。
	個人	亀岡 美友 元施工技術研究所	長年にわたり山岳トンネルの設計・施工技術検討などの各種委員会に幹事長、委員として参画し、トンネル技術の発展に貢献した。
2023	団体	(独)鉄道・運輸機構 前田建設工業(株) (共同受賞)	山岳トンネルの覆工コンクリート品質向上を目的とした背面平滑型トンネルライニング工法(FILM)の開発と新幹線トンネルへの本格展開
2022	個人	安藤 憲一 (一財)首都高速道路技術センター	都市部長大道路トンネルの先進的な防災安全技術の体系化および山手トンネル(池袋～湾岸線)の完成と運用管理に貢献した。

年 度	表彰者(敬称略)		業 績
2021	個人	今田 徹 東京都立大学名誉教授	日本の複雑な地質条件に合わせたトンネル技術の体系化に大きく功績した。
	個人	奥田 庸 元 日本鉄道建設公団	都市部における未固結地山を山岳工法で地表面沈下量を抑止しながら掘削する技術(工法)の開発と適用に貢献した。
	団体	首都高速道路(株)	横浜環状線建設事業におけるトンネル技術